

教育機関向け遠隔授業・プログラミング教育支援に関する活用事例紹介

恩納村立安富祖小学校

1 利用機器名

MESHアドバンスセット

2 機器の活用状況

6年生理科、単元名「電気と私たちの暮らし」の学習でMESHを活用しました。プログラミング学習の一環として学習に活用しました。

3 機器活用による効果・利点

- ① 自分でプログラミングしたことを出力し、MESHが実際に動作をしてくれることでプログラミングの楽しさと興味関心につながりました。
- ② プログラミングのしくみやプログラミング的思考の学習に活用することができました。
- ③ センサーとコンピュータのプログラミングを利用して、電気を効率的に使う工夫がされている物が身の回りであることを知ることができました。
- ④ 電気の有効活用をプログラミング学習に取り入れることでSDGSをつなげることができた。
- ⑤ 小学校6年理科の教科書（東京書籍）にMESHが紹介されているので、実際に教科書と同じ機器で学習することができた。

4 機器活用における課題・難点

本校（本村）が使用している学習者用タブレット端末はWindowsOSのため、MESHを利用するにはMESHアプリをインストールする必要があります。しかし、学習者用端末のアプリインストールは教育委員会が管理しているため学校独自ではできません。そのため児童用端末ではMESHが利用できませんでした。6年生の学習では学校用iPadを利用し学習しました。iPadが1台しかないためクラス全体で1つのプログラミングをし、MESHを利用しました。端末の管理上、WindowsOSでは少し使うのが難しかったです。